

柏 下 第 2 2 7 号

令 和 0 5 年 1 2 月 2 2 日

国土交通大臣 殿

柏原市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和04年11月11日 付け 柏下第 210 号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年12月22日

計画の名称	かしわら安全・安心な下水道整備計画（その２）(防災・安全)														
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	柏原市														
計画の目標	下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が進む雨水ポンプ場や管路施設等の改築更新を進めるとともに、台風時の大雨や突発的な集中豪雨による浸水被害の軽減を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,083	A	1,074	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$		0.83	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R３当初	R５末	R７末
１	下水道管路の点検実施率を０％（R３年度当初）から１００％（R７年度末）に増加させる。			
	下水道管路の点検実施率	0%	58%	100%
	下水道管路点検実施済みの箇所/計画期間内の下水道管路点検を実施すべき箇所（6,408箇所）			
２	雨水管路の整備進捗率を０％（R３年度当初）から１００％（R７年度末）に増加させる。			
	雨水管路の整備進捗率	0%	0%	100%
	雨水管路の整備済み面積/計画期間内の雨水管路の整備予定面積（0.55ha）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場設備改築更新	雨水ポンプ場設備 点検調査、実施設計、改築更新、非常用発電設備整備 他	柏原市	■	■	■	■	■	417		策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別2は新設を含む																	
	A07-002	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠（ 雨水）	改築	下水道管路等改築更新	下水道管路等点検調査、実施設計、改築更新 他	柏原市	■	■	■	■	■	227		策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は他に管渠（汚水）・管渠（合流）を含む																	
	A07-003	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	ポンプ 場	改築	下水道ストックマネジメント計画	更新計画策定	柏原市			■	■		55		策定済
	A07-004	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管路整備事業	実施設計、整備工事	柏原市	■	■	■	■	■	355		-
	A07-005	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠（ 雨水）	-	柏原市内浸水シミュレーション	浸水シミュレーション	柏原市				■		20		-
										小計						1,074			
										合計						1,074			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠（ 雨水）	-	柏原市内ハザードマップ の作成	内水ハザードマップの作成	柏原市					■	9		-
		内水ハザードマップを作成することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																	
											小計						9		
											合計						9		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	163	32	13		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	163	32	13		
前年度からの繰越額 (d)	0	83	7		
支払済額 (e)	80	108	20		
翌年度繰越額 (f)	83	7	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： かしわら安全・安心な下水道整備計画（その２）(防災・安全)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携により、相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の緊急性 1) 地域住民の安全性が確保されるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の緊急性 2) 各地域の課題の解消となる計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 予算の確保が可能である現実的な事業費を見込んだ計画となっている。	○